



“幼稚園が期待されていること”

園長 高杉 洋史



Photo by
Hiroshi Takasugi

幼稚園の多くの調査の中で、**園長、幼稚園教諭が信頼できること**がトップにきているのはうれしいことです。幼稚園の教職員も保護者の方々との信頼関係があつてこそその幼児教育ですところでお互いの信頼関係が大切ですよと云つても、深い信頼関係を築くのは容易なことではありません。言い訳がましいのですが、幼稚園の業務も次第に複雑になり、小さなミスは起こることがあります。これら小さなミスが積み重なることが、信頼を失うことも重々承知しています。そのため担任を副担任がバックアップし、学年主任が全体を見渡し、不都合がないかチェック体制を整えているつもりです。それでもいろいろなことが起こります。通園カバンのような大きなものがなくなるわけがないと思うのですが見当たらなくなることが起きたりします。まして靴下やハンカチはお察しの通りです。ご記名をよろしく願います。教諭は子どもたちとの深い信頼関係を作るのが最初にすることです。子どもが幼稚園に行くのを楽しんでるか、楽しみにしているかに気を使っていたけると幸いです。保護者の皆様の厚い信頼を得られるよう、全力を尽くします。

次に幼稚園が期待されていることは、**のびのび遊ばせてくれること**です。御両親のお気持ちには、力いっぱい**のびのび**友達と遊ぶことのバックグラウンドに友達とうまく付き合えること、思いやりやいたわりの心が育つていること、子ども社会のルールが身についていること、大人の話が聞けることなど、人として大切なことが身に付き、育つていることがあつて、**のびのび遊ばせてほしいこと**です。

文部科学省の幼稚園教育要領にも、幼稚園教育は遊びを通しての教育ということがうたわれています。ということ、ほとんどの大人は子どもが遊びを通して育ち、学んでいることは知っています。しかし現代社会は子どもにとつて遊びづらい社会となつてしまいました。整備された公園ですら子どもたちだけでは危ない環境となり、友達と一緒に**のびのび**と遊ぶことができるのは幼稚園ということになってしまいました。広さとともに多様性も必要です。特に生物の多様性です。カラスノエンドウ、ポピュラーな雑草の名前ですが生えれば花を摘み、次第に小さな豆のさやが成長するのを楽しみ、ままごとをし、晩春には黒くなったさやがらせん状になり、中の種がはげて飛ぶところを経験するには、草が多少生えていても大目に見る心のゆとりが必要ですよ。タンポポも黄色が優勢ですが、シロバナタンポポも咲きます。ダンゴムシやテントウムシも必要です。子どもたちの**のびのび**力いっぱい遊びたいという気持ち、そして御両親のお気持ちを實現するために教職員一同幼児教育に邁進いたします。ご協力よろしくお願い致します。

